



しんどうじ

校長 古澤 美奈

【目指す児童像】

自分が好き 友達が好き 学校が好き 東谷が好き
【統一理念(コンセプト)】「やる気」「根気」「負けん気」

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	全体的に全国平均を下回っていました。「情報の扱い方に関する事項」については全国平均と同程度でしたが、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題があります。
算数	全国平均を上回っている問題もありますが、全体的に全国平均を下回っていました。領域では「データの活用」に課題があります。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」で、30分以上読書をする割合は全国平均を下回っていました。全く読まない児童の割合も全国平均を大きく上回っています。学校や家庭での取組が必要であると考えます。 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合が全国平均より上回っていました。昨年度は下回っていましたが、地域のコミュニティスクール会議で話し合い実行していった成果だと考えます。今後も地域と連携した教育を継続し、シビックプライド(地域への誇りと愛着=自分たちの地域をよりよいものにしたい。誇れるものにしたい。=「東谷が好き」「そこに住んでいるいる人々が好き」)の高揚を図っていききたいと思います。 「自分にはよいところがあると思いますか」で、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」割合が全国平均を下回っていました。全職員で児童の実態や今後の取組を共通理解し、自尊感情を高めていく取組をしていきたいと思ひます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 資料の内容を読み取り自分の考えをまとめる力を付けるために
 - ・ 様々な教科における資料から分かること、そのことを基に自分の考えをもつこと、字数制限や条件を与えて書くこと、振り返りで視点を与えて自分の考えを書くことを継続的に取り組んでいきます。
- 自尊感情(自分にはよいところがある)を高めるために
 - ・ 児童について担任と担任外の教員とで情報共有して、学習支援を行います。また、行事の振り返り等を通して、児童に達成感や成就感を味わわせることを継続して行っています。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 読書習慣を付けていくために
 - ・ 学校、学年だより等を通じて読書習慣の実態や読書をする意義等を伝え、家庭でのテレビ視聴やゲームをする時間も含め家庭生活の見直しにもご協力をお願いします。
 - ・ 学校では、担任の読み聞かせや活動が早く終わった時間での読書、図書委員会の読書週間の取組等を通して、本に興味をもたせ読書に親しむ時間を確保することで、家庭での読書習慣につなげていきたいと思ひます。